



福岡県警察からのお願い

令和6年3月号

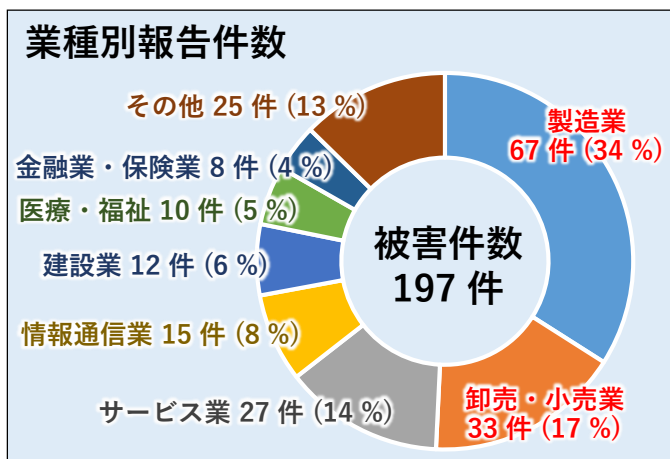
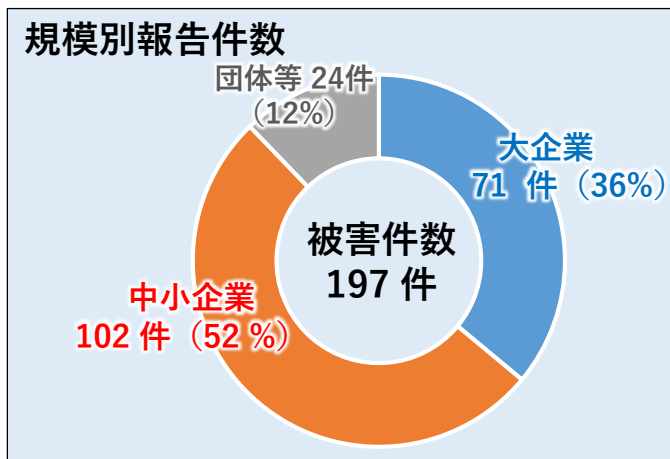
令和5年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等

本年3月、警察庁は「令和5年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」を公表しました。依然として、ランサムウェアの被害が高水準で推移しており、サイバー空間をめぐる脅威情勢は極めて深刻な情勢が続いています。



【警察庁HP】

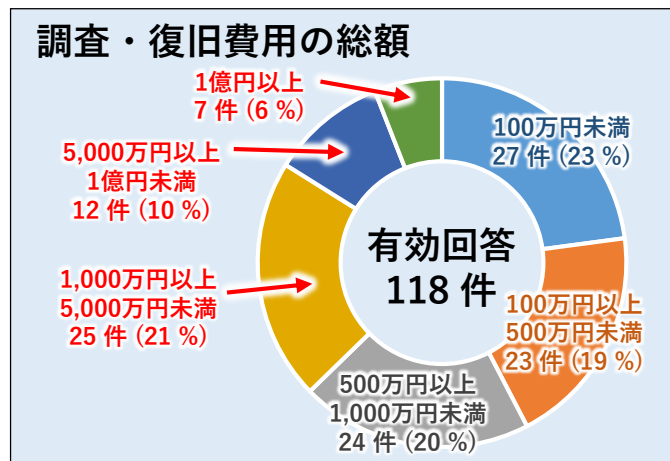
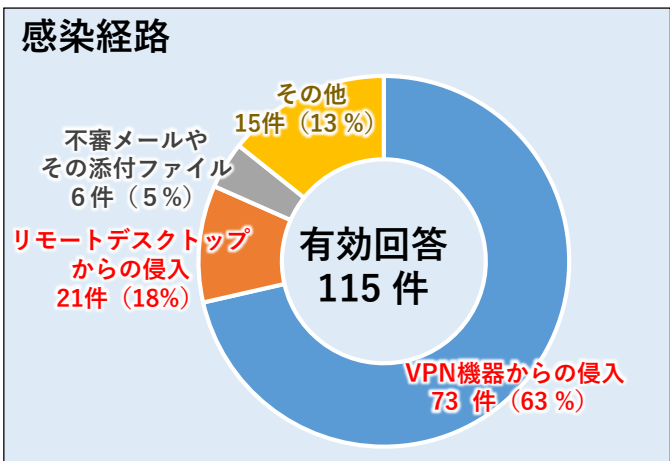
企業・団体等におけるランサムウェア被害件数（令和5年）



特徴

- ・ 組織の規模を問わず発生しているが、中小企業の被害が過半数を占めている。
- ・ 昨年に引き続き、製造業の被害が顕著であり、卸売・小売業の被害が倍増した。

企業・団体等におけるランサムウェア被害の実態（令和5年）



特徴

- ・ 機器等のぜい弱性や強度の弱い認証情報等を利用した侵入が、約81%を占めている。
- ・ 被害の調査・復旧に1,000万円以上を要したものが、約37%を占めている。

対策

VPN機器等にパッチ等を適用し、ぜい弱性を解消しましょう。
 バックアップデータは、オフラインで保管しましょう。
 万一感染した場合は、感染端末を直ちにネットワークから遮断しましょう

◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策などを、X（旧Twitter）やHPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

◆ 万一、被害に遭われた場合は、管轄警察署宛てご一報ください。

【X】
旧 Twitter



【HP】

